

Interpreter

Workshop

vol. 31



府民の森パークレンジャー

今号では、2004年度のまとめとして、みなさんにフリーで書いてもらいました。
それぞれの1年間の活動、ご苦労さまでした。

新しくメンバーに入られたみなさん！ こんな仲間が仲良くやっています。
みなさんの新鮮な声をお待ちしています。

レンジャー活動の楽しみ

パークレンジャー9期 中島 弥香(なかじい)

私の生活の中での、レンジャー活動はちょっとしたオアシスのような存在です。決して砂漠のような殺伐とした生活をしているわけじゃありませんが、仕事の中での人間関係とはまったく違う、とても心地よい人のつながりを感じることができて、疲れた心がリセットできる…そんな感じでしょうか。

何度か話しましたが、今年の子どもキャンプではメンバーの結束によって、ひとりでは絶対できないプログラムを実現させることができました。みんな、なんでそんなに一生懸命できるのか…やるのか…人間って捨てたもんじゃないなあ…なんて大げさに感動したりしてしまいます。多分に自己満足の感もあるけれど、まあやっている人間が楽しければ、来てくれた人も楽しんでもらえるのかな！？

わたしはもの作りが好きで、ふだんは時間があれば、牛乳パックできれいな箱を作ったり、松ぼっくりでツリーを作ったり、もちろんリースも色々なもので作ります。洋裁、手芸、お菓子作り…など自分の手から何か生まれるおもしろさは一種の快感ですね。自分で何かを作ってみると、どんな風でできていたのか、何から作られていたのか、どんなに工夫がいるか…等々いろいろなことに気づきます。ものを大切にしようという気持ちもわいてきます。楽しくものづくりをしながら子ども達がそんなことを感じてくれたらいいなあ、いつも思っています。

キャンプが好きな私はくろんど園地を主な活動場所としていますが、宿泊を伴うキャンプイベントはあまり多くはできないので、デイキャンプスタイルで、自然観察ともの作りをセットにしたイベントをやりたいなあと考えています。たとえば、季節に1回くらいの連続講座のような形式で、野草を観察し、採取したもので料理をしたり、昆虫を観察したあとダッチオープン料理を楽しむとか、竹を伐採し、それを材料にペンチを作るとか…園地の特徴も取り入れて考えていけたらおもしろいなあと思っています。まだ具体案とはなっていませんが一緒にやってやろう！というメンバーがおられたらぜひ声をかけてください。

ところで、ほりご園地に行ったことのないレンジャー、リーダーのみなさん、一度行ってみませんか？なんとパンやピザが焼ける大きな石釜ができたそうですよ。ぜひ使ってみたいですよ。何とんでもレンジャー活動のいいところは色々な施設を自由に使わせてもらえることですよ。又、近いうちに声をかけますので、みんなで行きましょうね。

こんな風には書いてると自分が楽しむためだけに活動してるのか、とお叱りを受けそうですが、とにかくできるだけ園地に足を運んで、多様な自然に触れることが、レンジャー活動を楽しく積極的にできる方法かな…と思っています。2005年もよろしくお願いします。

近頃通勤途中で、気になる事があります。私は藤井寺市から河内長野市へ車で国道170号線(外環)を南に向かうのですが、その両側に植えられている街路樹が気(樹)になっています。

何故かといいますと、街路樹はケヤキとクスノキですが、通勤途中の信号待ちなどで、ふと横のケヤキに目をやると、ビス(ネジ)が数本打ち込まれています。なぜ?と思い次の樹を見ると同じように数本のビスがあります。?。その原因はすぐにわかりました。

広告看板や宣伝用のラミネートを取付けたものです。たしかに紐や針金で樹に固定するより、充電式のドライバードリルで固定すれば簡単、便利、早い事間違いナシです。しかし、街路樹は看板や広告を取付ける為に植えてあろうはずもなく、だいたい無断で(許可が得られるとも考えられないが)取付けていい訳ありませんし、そのままほったらかしにしていいものでもありません。またドリルドライバーで取付ける時にも何とも思わないのでしょうか?

こんなことを考えながら毎日ケヤキを覗いています。街路樹の管理管轄はどこなのか知りませんが、気になってしかたなく通勤途中にザット数えたら南行き(東側)で700本位として、単純計算で170号線の両側、羽曳野~河内長野(通勤で覗いている区間)で1400本位植えられている事になります。この殆どにビスが数本打たれているとしたら・・・

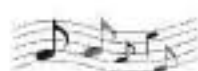

街路樹は枝が伸びすぎたら剪定され、枯れてくると切られます。葉っぱが散ると嫌われます。毛虫がいるとあって嫌われます。ケヤキはサクラのように美しい花は咲かせません。イチョウのように「銀杏」も落としてくれません。

一般的にケヤキは公害等排気ガスに強いとされ、全国の街路樹に選ばれているようですが、いくら強いといっても生身を傷つけるのは止めて下さい。

こんな事いろいろと思いながら、考えながら170号線をケヤキやクスノキを横目で覗ながら、何本有るか数えながら。花粉症で鼻はズルズル、眼はウルンさせながらイカンイカンそのうち前の車にぶち当たりそう。

今一番考えている事、それは

「あのビスは抜いたほうがいいのか?」

 「森のエンターナーを目指して」 

12期 峻 亘

1. 1年目の反省

私は昨年パークレンジャー（PR）に採用され北部班で活動しました。北部班の先輩PRは強力な陣容でその指導力に頼ってのうのうと過ごし、大した戦力にもなれず1年を過ごしました。

しかし私の好きな くらんど、星田両園地について今までと違った目でかなり深く知り得たことは大きな収穫でした。植物、野鳥、昆虫その他の動物以外にポットホールのような珍しいものも含めた豊かな自然に加え、園地周辺の歴史など楽しいことがいっぱいでした。

また、参加したイベントでもアイスブレイキング、ネーチャーゲーム、キャンプ技術、ロープの使い方等、いろいろなことを学びました。

イベント開催にあたっては

- (1) 企画内容はこれでもかと盛沢山の上、常に新規項目を付け加えようと苦心されています
- (2) 準備は周到で下見も2回以上は実施します
- (3) 本番は、全力を尽くして終ると、へとへとになる程です
- (4) 結果に満足することなく厳しく反省を行い、次回につなげようと改善を繰り返します

以上のような状況で新米PRとしては頭が下がることばかりでした。

2. 2年目の抱負

北部班のPRには森林インストラクターで万能選手、登山のベテラン実力派リーダー、パイタリティも兼ね備えた料理名人、クラフトや子供遊びの達人、母子てなづけ・客引きの天才、植木のプロ等多士済済。みんなを楽しませるエンターナー揃いです。

あるイベントで竹を輪切りにして縦に割目を入れチェーンを作るクラフトを指導していたPRに別のPRが手品を使って割目が見えないようにしたらどうかと言ったことがあり、それを聞いてはっとしました。客を楽しませるためには何でもあります。

私は今年こそ得意とする植物観察でエンターナーになりたいと思います。樹木や野草を見て名前を教えるだけの自然解説にはなりたくありません。植物の特徴、名前の由来、用途、その他エピソード等を面白おかしく、楽しい解説ができるようにしたいと考えています。最近万葉集の楽しさを教えられました。万葉集と植物の関わりも深く、そんなことも取入れられそうです。府民の森を訪れるお客さんに心から楽しんで貰えるよう一歩でも近づくのが私の目標です。

「やりたいことがいっぱい！」の幸せ

この一年、毎月1回の定例ミニイベント「森の自然教室」を雨天により1回だけ中止したものの、全て無事に終わることが出来ました。いやあー我ながらよくがんばったなと思います。参加者については、自然観察よりも工作に人数が多くかたよりましたが参加ゼロの時はなく、11回で延べ51組176人になりました。

また、私自身もビジターを相手に、たくさんの“ヘタ打ち”をして、話しかた・見せかた・引き付けかたなど、とても勉強になることが多く充実した1年でした。

今年度の目指すところは、

- 1、4人でパワーアップしての定例ミニイベント「親子DE楽しもう！」の成功

「定例ミニイベント」は大御所の西出R、むろいけ園地に魅了された熱き男こと下釜R、ふれあい隊からの積極的かつ笑顔のすてきな宗里Rが入っての活動で期待度200%!

- 2、掲示板「森の新聞」を刷新

掲示板は、お得意のPOPの手法を用いた手描きと、パソコンを駆使しての四季折々な内容で作成し、期待度100%

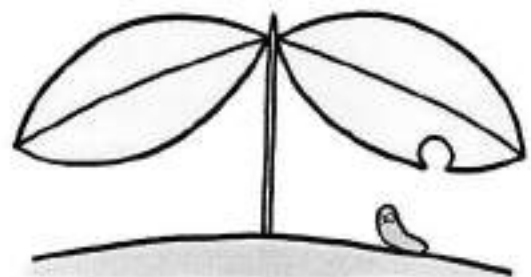
- 3、自分自身のスキルアップ——園地内を歩く

この1年間はイベントに追われてゆっくりと園地内を歩くことが出来なかったなので、今年度はあらためて園地内を詳しくと思うのですが・・・

- 4、入門講座での受講生の企画案、園地内の荒れた樹や竹の除伐、笹を刈っての植樹

私は詳しいことはわかりませんが、知識技能を持っている人で、誰かワークをいっしょにやっていこうという人いませんか？ 期待度未知数

「やりたいこと」がいっぱいあることは幸せです。欲張っていて、どれだけできるかはわかりませんが、17年度もがんばっていきたいと思います。



みなさんのレンジャー活動でのやりたいことは何ですか？

by かなざき

活動を始めて、2年目となる2004年度、
初めて午一を経験して、少しは成長したかな？(笑)
むろいけ園地では、オカリナ🎵を作らせてもらい、
ほしだ園地では、ロッククライミングに挑戦し、
なかなかできないようなことを実際にできたことも
うれしい思い出です。

まだ行けてない所もたくさんあるので、少しずつ
挑戦？していきたいと思います。

新しく入られたみなさま、よき仲間と出会えるのも
何れの魅力のひとつだと思います。今後ともどうぞ
よろしくお願い致します。

曾野 麗美
ミナモト
ミナモト



ほほえみ

川崎 洋

ビールには枝豆

カレーライスには福神漬り

夕焼けには赤とんぼ

花には嵐

サマには青い蜜柑の酸

アダムにはいちじくの葉

青空には白鳥

ライオンには編馬

富士山には月見草

場には落書
やくざには唐獅子牡丹

花見にはけんか

雪にはカラス
玉寸釘には蕨人形

ほほえみにはほほえみ

2005年度は

「ほほえみにはほほえみ」
を忘れず活動したりぞう

川崎洋さんの「ほほえ
み」という詩を読んで

ほほえみを大切にしたい
と思えました。
(ふれあい隊二期)

高久明子

(ホトト詩集より)

昨年から参加させて頂いている12期:福田(ふくちゃん)です。

子供に「お父さんレンジャーになったよ！」って言ったら、正義のヒーローの着ぐるみショーでもやってるように思われ、「恥ずかしいから、誰にも言わんといて」って言われてしまいました。

当の本人もよく解らないまま1年間くろんと班として、活動に参加させて頂きましたが、各研修やイベントを通して、諸先輩方の話を聞いた
り、イベントに参加された方々と接する中で、パークレンジャー
の役割や楽しみが、ようやく少しずつ解ってきたような気がします。



2005年度は、おろいけ班として、府民の森に関わっていこうと思っています。



昨年の11月クレンジャー入所講座でくろんと園地を訪れた際、初めて見たラクウショウの気根の異様さに驚いた。少くも気をつけたいと身近なところにはラクウショウは沢山あるとセコ判った。
先小児: 自然界に対して殆んど無関心であらう。視点を変えるだけでいろいろな自然現象にぞくぞくする。自然の変化は、直ぐ手が届くところ。踏みぬける足の下で起る。201年、自分にとり新しい発見(人様には当たり前とセコ知れぬ)をいくつか観察するところ出来た。ネタは無尽蔵にあると思うとワクワクする。
万博公園を前庭に、服部緑地を裏庭に持つ我家の立地条件(最近すぐ側にある千里緑地約18haを横庭とすればいい)を活かして、自然に親しみ、自然を観る目を養って行きたい。
春近。あゝ木に、こゝ木に、どやうな芽吹きか。観る小の楽しみだ!

ダットサン(レンジャ-12期 安達直樹)

今年度、参加させてもらったイベントは、ほしだ園地のリース作りと、中部園地の夏休み宿題工作だけでした。あと皆さんとお会いしたのは、研修か会議だったように思います。体力が落ちて、出かけられなくなってきて、来年度の継続もどうしようかと悩みました。でもできる範囲でやればいよいよというアドバイスをいただき、残らせていただくことにしました。

パークレンジャーの魅力は、すばらしいメンバーがいる、ということです。

北部班ではリーダーの武田さんが、活動の報告をいつもメールして下さります。又、一緒に活動に参加しよう、と誘ってくれる方もいます。そういうつながりはとてもありがたいし、大切な事だなと思います。

ところで、1995年の11月（私がまだパークレンジャーでなかった頃）なるかわ園地のイベントで、参加者の方に「2000年のわたしへ」と題して手紙を書いてもらったそうです。その時の手紙が、まだ園地に無造作に残されているようです。私は是非、その方々に返送した方がよいと思っています。今年は丁度 イベントが10年がたつわけですし、お手紙と共に、現在パークレンジャー活動とアピールするような何かを送ってみてはどうかと思っています。賛同して下さる方がいらしたら、一緒にやってみませんか？ 来年度はこんな感じで、園地に行けなくても地道に宣伝活動に取り組みたいと考えております。

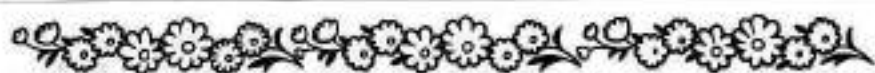
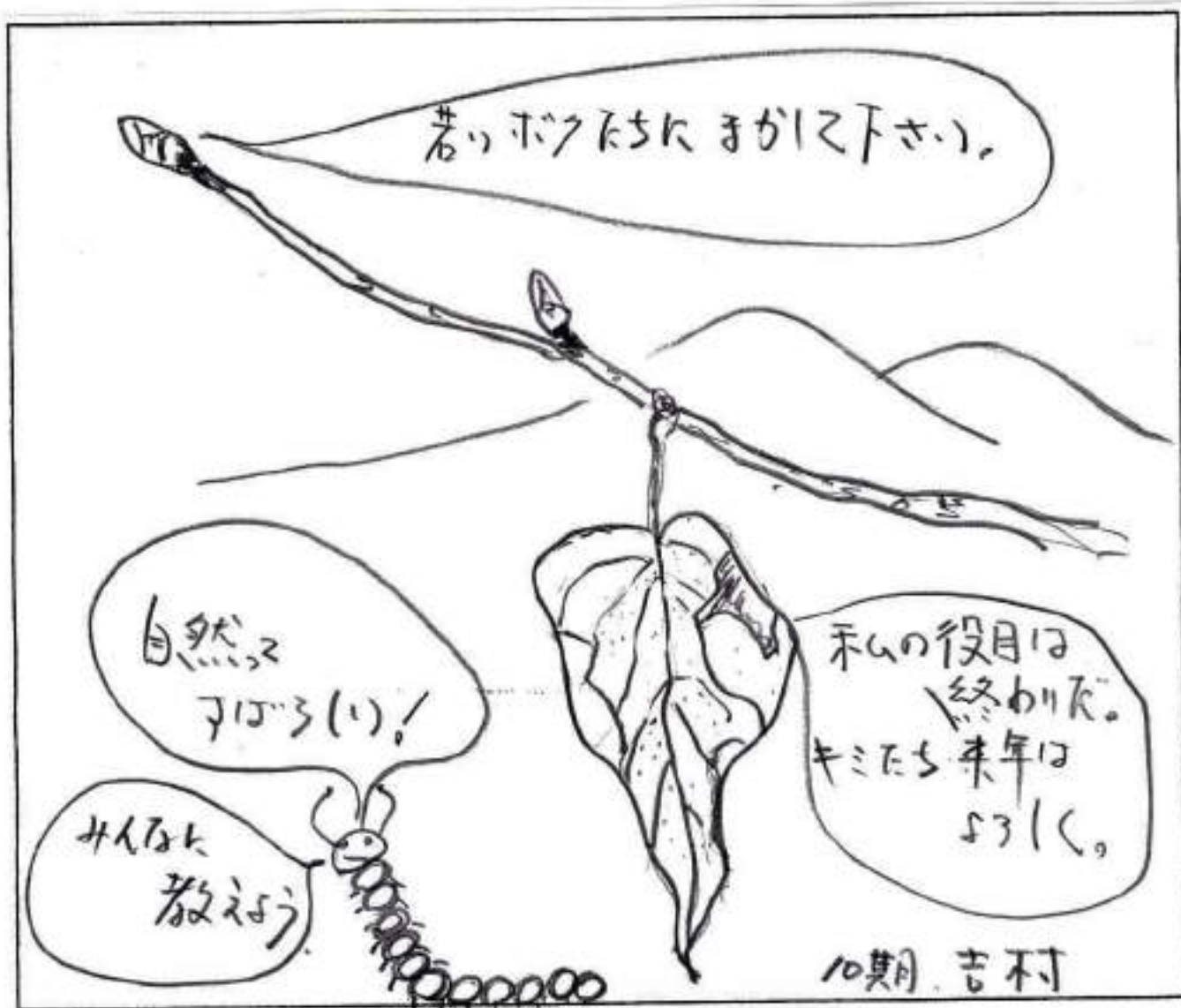
5期：中村孝子(たこちゃん)



仕事を抱え身元出来得る限りの活動に参加してみようと考えていたが、活動への参加が少なく 関連だった活動も出来なかった。

今年は 参加できるイベントに的を絞って、事前打合せから下見・本番と一連の活動に参加し、「府民の森」の良さを参加者に味わってみたい。

12期
山本富郎



中年に立しかかったことを実感させられる、今日この頃。
 今年は無目的に人生のスピードをゆるめ、人生の下半期に向けて、
 自己の見直しと、人間関係の再構築をほめる年に
 したいと思っております。

のんびり、ゆっくり、ぼちぼちと
 パークリンジャー活動もがんばります。
 人に夢や希望を与えられる、
 そんなパークリンジャーでありたいなあ。

(ろんご.ほし.時 おくだこうじ (くまん))

2004年度を振り返って、
早いもので1年経ってしまいました。考えてみる
とあまり活動に参加できませんでした。
しかし、公社の方、レンジャーの方、園地の方々
など、いろいろな方々と知り合えてとても良い時間を
すごさせていただきました。
また、漠然と自然保護活動を考えていましたが、
今回の参加で頭の中で具体的に描くことができるよ
うになりました。新たな興味を持った内容や発見も
たくさんありました。
まだまだたくさんの事を勉強しないとイケません
が、地道に参加させていただきます。
みなさんよろしく願います。

12期金城



私は人様のお役に立ちたく、ボランティア活動をさせて頂きたいと応募しま
して、昨年4月にパークレンジャーに任命して頂きました。私には園地活動に
関する知識は何も有りませんので、とにかく最初の1年間は出来るだけ諸園地
の活動に参加させて頂きました。園地により活動内容に特色が有り、沢山の勉
強をさせて頂きました。気楽に参加させて頂いたのですが、先輩の皆様には親
切にご指導頂きまして、楽しい1年間を過ごせました。本当に有り難う御座い
ました。色んな活動の中で、工作、キャンプ、あじさいハイクの案内、しめ縄
飾り作り、リース作り、間伐等自分に向いている活動が沢山有りました。活動
を通じビジターさん（参加者）の笑顔がやはり最高に嬉しかったです。2年目
は1年目の経験を活かし、もつと園地活動のお役に立てれるように、もつと沢
山のビジターさんに喜んで頂けるように、所属の園地を軸に他園地の活動も積
極的に参加したいと思っています。
新入パークレンジャー皆さん、私達と共に楽しい活動をしましょう。そして、
人生を語りましょう。皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

むろいけ班 12期パークレンジャー
ブラさんこと 宗 (ツリ) 誠一 (61歳)

16年度の活動について。

結論は出来るだけ活動に参加をし、無理はしないこと。す。

自然観察と園地の把握につとめることとしたい。

私も3月が来ると一年の経験と振り返りが、

楽しく・ほがらかに、各キャンプ(研修・ホタル・子供)体験と

北部担当及び近隣園地での活動も出来ました。

又、イベントの他に府民牧場のドムクフン作り、宝地園地での
オカリナ作りとか、クリスマスミニコンサート等へも参加等をして、

今まで思いもしない事が出来ました。

参加中は出張先より直行したり、リードな事も多りましたが、

自身の仕事と家庭等の予定を考慮、健康第一としました。

是非皆様の活躍の場が広がるので参加して下さい。

PR12期 北部班 南丸 (南出男)より。



パークレンジャー こと始め

12期 山崎智昭

スタートの2004年始めには「ボランティアが自主的に企画、運営する活動」というコンセプトにフレッシュさと楽しさを感じました。しかし、様々な活動を体験し、いろいろな人達と行動を共にするうちに徐々に自分が発見してできるような活動は何かあるかと思いを巡らせた。もと所属外の他の園地にも足を運んで新しい体験をしてみたいと思えるようになった。レンジャーやふれあい家の皆さんが多忙中、自分が自由に使える時間を出し合って素晴らしい活動を作り上げたい。無理をせず、楽しんで。新しくメンバーになる方達もどうぞ気軽に参加してくださいね。新たな世界がある、新しい自分に出会えるかもしれない。

むろいけは、通えば通うほどに
魅力が増す森。

“自然”も“人”も いい味出しています。

季節はこれから 待望の春。

むろいけに咲く花、新緑や山菜(?)。

そしてもちろん新メンバーのこと。

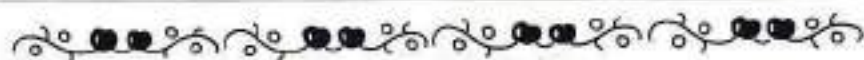
今年の春はいつもに増して一層

楽しみです!! (二期下釜(サマちゃん)

追伸: ポクのもむひの“myフィールド”

奈良の春日原始林、週末お訪はぜひお声を。

いつでもご案内しますよ!



“仲よしクラブでいいじゃないか” 中部班の居心地
良くしている言葉ですから、肩こじはらずに楽しく参加
しています。一般参加者と接して、こちらにもエネルギー
をもらって、リフレッシュさせてもらっています。

中部班 椋田さん



次年度のリーダーで若い人達が激減しました。

今年度の活動の進め方に問題があったと考えています。

次年度はフレキシブルに進めることになりました。

個人的には探鳥をしてみたいと思っています。

(ふあい隊1 村田)

10期 武田 敏文 (たけびー)



自己紹介:

- *生まれ: 兵庫県
- *年齢: 57
- *住所: 枚方市
- *所属: 北部班(くろんど、ほした班) P.R 4年目、どこにでも行きます
- *特技: 岩登(昔・今木登り花用、P.R)
- *好きな分野: 自然観察・登山・キャンプ・周辺の歴史を知ること・工作(パーティ少ない)
- *お酒: あまり飲めないが好き
- *資格: なし(森林のストラクチャーに挑戦中)

2004年度北部班では色々な企画がありました。ミスバショウハイキング、ホタルキャンプ、レンジャーキャンプ研修、子供キャンプ、どんぐりハイク、リースやしめ縄作り、冬の虫観察などなど。そして色々な感動がありました。ホタルキャンプは初っ端から雨、どうなることかと思いましたが物は止んで懐かなげなゲンジボタルの舞を見ることが出来ました。レンジャーキャンプ研修ではナイトハイクで思いもよらぬハイクボタルの乱舞に皆感動、でも翌日のヒノキと竹の霜降は暑さとの戦いで体力の限界への挑戦となりました。そして子どもキャンプでの冒険プログラム(小径作り、ブランコ、木登り)はレンジャーにとっても初めての挑戦。しんどかったけど子どもたちからは「一生忘れることは無いだろう」という嬉しい言葉をもらいました。

2004年の活動は皆喜んで頂き、又レンジャーにとっても感動があったのは、全員が協力して考え、行動した結果だと思います。正直なところ2005は北部班にとって2004年の反動が有り、気もするのですが、新メンバーとともに工夫を凝らして新たな挑戦をして行きたいと思います。皆さん新年度もよろしくお祈りします。

2004年8月7、8日に実施した北部班主催の子供キャンプでは、メインテーマとして「冒険プログラム」を企画した。子供たちに森で自ら仲間と協力し工夫して遊びを作り出す楽しさを体験してもらおうという意図である。これは以前から北部班レンジャーの中でやりたいと考えていたプランで、安全面でリスクを心配する意見もあったが、中島ヘッドの総合企画の下、各レンジャーが夫々のプログラムを分担して下見・実習を重ねて実現できたものである。以下具体的なこのようなことをやったかを紹介して他班でも参考にしたいと思う。



- ① 僕らの基地(小屋作り)：立木2本を利用し自然の材料で屋根を作ってもらおうと言うもの。竹を骨格にして屋根は竹の笹、ヒノの枝葉で葺いてもらう。材料となる竹やヒノは7月にレンジャーキャンプ研修で間伐したものを利用。子供達には思い思いに材料を荒縄で固定してもらった。途中屋根の材料が不足し、ヒノの下枝を取りに行くハプニングも、完成後は寝転んでみんなでわいわい、夜はここでと言う子までいて大変……。



- ② 木登り：子供のころ木登りをしたレンジャーも多いことと思うが、今は危険だと言うことでなかなか機会が無い。北部班では岩登りの経験者(武田)がその技術を活用してみた。登りやすそうな立ち木を選び、数m上の枝に支点を取ってザイルを通して子供には万一落ちても良いようにハーネス・ヘルメット(安全ベルト)を付けてもらい下で確保して安全に登らせると言うもの。直ぐ登れる子もいっしょぼてこずる子も、でも登れた後は全員で拍手。3回も登った子も。でもレンジャーはへとへと……。



- ③ 滑車ロープ：傾斜地の上の立木から下にある木にロープを張って滑車を架け、竹の椅子に座って滑り降りるというもの。子供にとってはスリル万点だが、設置と安全にはプロの技術が要求される。実際やるとなると道具も経験者もない、幸い安田レンジャーが道具・経験を持っており一式を提供してもらい、設置・実施を担当してもらった。乗る時に高さがあるので管理事務所の脚立を借りて踏み台にした。終点で下りるとき椅子が跳ね上がり危険な点もあったので十分な注意が要る。



- ④ ブランコ：最もポピュラーなものだが、支点は間伐竹の十分太いものをレンジャーが木と木の間に固定し、子供たちには椅子になる竹を切ってもらいザイルでそれを固定してブランコにした。特に子供達の提案で二人乗りのものを作ったがこれは大人気。ブランコがゆれる範囲内にはロープを張り立ち入らないようにするなど安全を期したが、子供たちは自主的に順番待ちをして混乱はなかった。レンジャーも楽しんだのは勿論!。これは何時でも出来るアイテムだと思う。



- ⑤ 綱渡り：ロープを木と木の間に上下2本渡して両端を固定しておき、下のロープに乗り上のロープをつかんで伝い歩いて端まで行くという遊び。端の方では比較的安定しているが、真ん中に行くに従って弛みが出るので体が振り返りようになる。体力とバランス感覚がいる。ロープと木があればどこでも出来るものである。この外に竹はしごを作って上るものを奥田レンジャーが子供達と作った。



- ⑥ ハンモック：大きいネットにロープを通して袋状になるようにし、四隅を木に固定して完成。一人が中に入り周りの人がゆずって中の人を揺らして楽しむと言うものである。子供達には網にロープを通したり、固定補助等準備してもらった。ハンモックの中の人には勿論だが、揺らす方も一緒に大きく揺らして楽しめる。写真は中島くレンジャーが入っているところ。

反省事項等：冒険プログラムはとにかく、初めての取組みで最初は暗中模索という状態だったが、竹やヒノの間伐実習、ロープワーク研修、実際の木への設置テスト等を通じて実現できた。冒険アイテムとしてはプログラム数が多くレンジャーの負担が大きかった。又子供達にどこまで作業をやらせるかについては安全及び時間の制約があり、小屋作りを除いて基本の設置にはレンジャーが主体で子供達は補助役となってもらった。又安全面では竹の除去、木の根っこの除去等事前にやったが、小屋作りでは支柱の竹の端で顔を傷付けた子供がいて端を布で巻いてエッジを出さないようにすることが必要。又放っておくと勝手に遊ぶので十分な監督と、時間外には撤去、又は動かないように固定等が必要。

森の営みと共に

アシスタント・コーディネーター 村尾嘉彦

平成16年4月から1年間大阪府の府民の森や箕面ビジターセンター、花の文化園、府民牧場で、みなさまと活動でき、誠にありがとうございました。この度退職することになり、日常的にみなさまと話をしたり活動したりできなくなるのが残念でなりません。

鳥やその他の神秘的な生き物とその作る不思議な風景を追って育ってきた私の夢は、生き生きとした営みが行われている森などの自然生態系の中に私たち人間も共に暮らせるようにしたいということです。森は大事だ、と言われながら十分に活用できていない、またその価値を共有化できていないため、生態系が単純化したり秩序を失ったりしています。無関心や破壊に対抗できる活用と共有化のための方法を探ることをいつも考えています。

昔から森林を多種多様な方法で継続的に利用してきた知識や経験（伝統的生態学的知識）に加えて今の時代にあった精神的価値や工業的価値、そしてその基本となる生物の営みの知識が、少しずつですが集積されてきています。しかしながらこれほどメディアや人間の交流が進んでいるにも関わらず、その正確な知識や経験はまだまだ広まっていないのが現状です。

そのためには常に正確で詳細な情報を知ろうとする好奇心と、それを人と分かち合う喜びが原動力となります。レンジャー、リーダーのみなさま、会社のみなさま、ぜひともこれからも共に自然と生きる幸せをみんなで共有化していくために、一緒に楽しんで活動していきましょう。

電子メール

murao-lj@infoseek.jp

ホームページ “よっさん” です こんにちは（状況報告用に仮運用しています）

<http://blog.goo.ne.jp/nowhereleaf/>

FAX はあいにくありません。必要があれば公社で転送してくれるかな？

情報交換の大きな落とし穴だと実感していますが、ごめんなさい。



編集後記



フーツ三：なんとか31号を発行することが
できました…● 2004年度も終わりですね。
2005年度は、仕事の方が忙しくなりそうで、レジャー活動
にも、どれくらい参加できるか、ちよと心配しています。
IPWSも少し省カ化して、継続にやっていたらと
考えています。ぜひ、お手伝いよろしくお願ひします。
原稿を寄せていたいただいた皆様、ありがとうございます！
なかじい

今日、巷はサッカー一色（W杯予選 vs. パーレン）だということに、

初めてお手伝いに来てしまいました。

明日で3月も終わりだということに、まだ寒い！！

なんだか損しているような気分です。4月に期待じゃ。
12期 下巻。

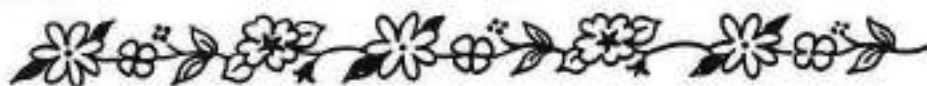
今年はずいこと眠っていた気がします。

とほい、才力不足をカバーしてもらったり？

突如イベントを奪い取ったり?? させてもらいました。

2005年度には積極的に動ける自分と、ありたい。

相変わらず犬と散歩が趣味の1人です。





2005.3.30 発行